（月曜日休刊）（毎月第一第三日曜日休刊）　（十月廿日）　東京新聞　（明治三十一年十二月十九日）　第百九号

東京新聞

滿目荒涼

翠山生

▲統監の向い岡城行に就ての目的は果して何が爲めか又如何なる感想と趣味を齎らして來りたる乎共に把握として知るに由なきも正可に喪も見ゆ尙に甚さへする由なき母國民の手前を飾らんが爲め地方暴徒狀況視察の爲め開城……否原籍線沿道に起きたりと傳へらるゝやうれ慌ければ御心底には夢さら無之と斷言いたし候

▲開城は申す迄もなく高麗燒の本場且つ名所舊蹟多き地英雄ならぬ市井の匹夫に至る迄も李朝五百年に於ける今昔を回想して轉た感慨の情に堪へざるもの有之候況んや天下の偉人伊藤公に於てをや思ふに仮例其の錦心繡腸より溢れ出づる名什佳作の詩歌なりとも筆山に出來したることゝ察存候

▲ヘデン博士の人となりは一昨日漢城だよりに於て申し述べ置き候通り勇敢なるスカンダナビヤ人の代表者として世界より尊敬され學術上實驗上勝た其の他に於て文明社會に偉大なる貢献をなし否な爲しつゝある人物に候而して氏が去る十五日日本人倶樂部の歡迎會席上に於て試みたる一場の講話は實に有益なるものに候講話は載せて十七日の紙上に記しあり候へば愛に紹介するの必要は無之候も兎も角も其の講話は言々句々人を動かし且つ世を益するものに加ふるに其の容貌といひ態度といひ偉人の俤を宿し人をして側々として敬服いたさせ候吾人は博士が一兩日の中に當地を去られ候ことを衷心名殘り惜しく存候

▲愛度か更迭の噂を傳へられたる現内閣はフヨ〳〵としながらも未だに虫の息をつゞけ居候金の一派が野より起ちて果して天下の政權を握るにしても後日現内閣員をして滿足せしむる程の下準備なくんば將來の程何となく思ひやられ候尤も伊藤公の群豪統御に熟練なる斷じて後日の禍を釀すが如きアマはなかるべしと誰れやらの力味返りたる言葉に候も之は大々的當なる言葉と存候

▲大坂師團長井上大將豫て危篤なりし所一昨日午前五時薨石功を奏せず溢焉として薨去せりとの報に接し候大將は山口縣の產享年五十四歳性勇邁にして機略に富み而も情誼に厚く義氣を重んじ部下を愛する恰かも嬰兒に對するが如く溫嚴並び行はれて毫も誤るなし三十七年二月日露の戰端開かるゝや小倉師團長として仁川に上陸し次で鴨綠江より遼陽に進み沙河奉天の大戰に參加して殊功を樹て歸來其の功を以て勳一等功二級に叙せられ同時に男爵を授けられ新進有爲の將軍として一代の具瞻する所となる而して今や亡矣吁惜しい哉（十七日稿）

外國貿易旬報

（十二月上旬調査）

輸出重要品表

品名	本年分	前年同期
米	二七、九二四	一六、一四二
大豆及小豆	一六、一八五	一九、一五二
鮮魚乾魚鹽魚	一九、三三	一五、五一六
牛皮	六、八七四	三、九九
人蔘	一、一五	一、一五
綿花	九、三六	三、七五
生牛	一、一五	一、一五

輸入重要品表

品名	本年分	前年同期
鹽	二、五一	三、三三
食糖	二七、九六	三、八一九
砂糖及精糖	三四、四八二	三四、一三四
清酒	一、三四三	二〇、四八二
石油	二〇、四八二	四一、七九九
綿打綿糸	四一、七九九	一五、三六五
生金巾及シーチング	一五、三六五	七、六六四
晒金巾	七、六六四	四、四七三
日本木綿	四、四七三	一四〇
麻布	一四〇	豐、八六六
絹	豐、八六六	一、三五六
紙	一、三五六	天、三五
石炭	天、三五	八、九二四
熱煙草	八、九二四	四、三五七
焼鑞	四、三五七	七、一九九
木材（鐵道枕木及板を併す）	七、一九九	二、四二一
セメント及石灰	二、四二一	三、三九九
マッチ	三、三九九	一、一九八
	一、一九八	八、八六六

浮世ぐさ

●イルミネーションの始

イルミネーションは、三十三年四月三十日神戸沖にて觀艦式のありし時、夜間各艦に發光して海面を照破し、一大偉觀を添へたるに始る

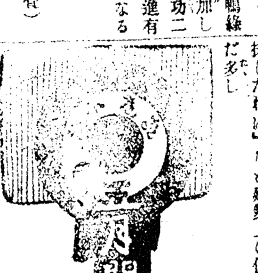
其後大阪に於ける第五回勸業博覽會に於て點火したるイルミネーションの電燈數は六千七百餘燈にて一時其壯觀を賞せられしが四十年三月廿日東京上野東京觀業博覽會にて日曜大祭日の夜間に場内建物等に點火したる數は三萬五千八十四燈に上り其點火料一夜千三百圓なりし。

●ヘンキの始め

工藝志林に云、安政五年海外藩國と貿易を開く、爾ありてより以來、又或は、家屋の建築を外邦に倣ふ者あり而して塗或は碧色と爲し或は白、茶褐、紺、青、黃淺、紅、紫色と爲す、（彩るに皆ペンキを用ひる）是に於て家宅門墻橋梁を數色なる風一變すとあり明治四五年頃新發店川名浪吉が看板をぬるペンキを得る遑なく海軍省より少量を乞ひ得て漸く看板一枚を塗りしとのこと又明治六年四月の（百首）に

三階や四階の樓をペンキぬも、吉野の里に

とふれる白雪又七年（紫昌誌）に「得難かるべき良材なるを惜むらくは青ペンキもて塗抹したれば」など建築上に使ひたる記事甚だ多し



滿目荒涼（八十七）

河合柳葉

本年分二七、九二四

前年同期一六、一四二

其より一二三日過ぎた某日の事であつた、菊野は學校からはつて合嬢蕗子と共に、學課の復習した後、自分の室に退らうと例の長廊下を此方へ來ると、丁度彼方から大山嬢が來たのである、例は優しい顏に微笑を湛へて行過ぐるのであるに今日は顏を見ながらツンと濟まして、餘目をも見ずに必ず辭を浴けて行過ぐるのであるに

かは知らぬけれど何となく蔑ひたやうな眼色で眺められた心がするので人に拭ふことのならない恥辱を與へてれきながら、氣の毒さうな顏色もせや、しかも自分の友達とたうどさうです。

と、辭をかけた。

大山は殊と立留つて、小い聲で、

「大山さん、暫少し話し申したい事がありますから、れ暇のせつ一寸た目にかゝりませんか。

御用がれ在りなさるんなら何時でもた目にはかゝりますが。

「では、どうぞ嗤

今れ差支がなければ、一寸ど私の室までれ出でくださいませんか。

「可しうございます、た伺ひ致します。」

と、大山は不思議に思ひつゝ、菊野が室に行つた。

室に入ると共に襖を閉め切つて、四邊を憚る低聲で、

「大山さん、私貴方に對してれ怨み申すことは深山ありますけれど、それを今日申したところで取返しの就く理ちやございませんゆゑ、何事も定まる約束事と諦めて、もう何にも申し上げは致しませんけれど、うの代り私を可愛想だと思ふ心がれ有なさるなら、どうぞ黑崎の芳江さんと結婚なさる事だけは、れ止め下さる理には參りませんでございませうか。」

と、例の菊野とは別人かと思はるゝまで、堅く決心したのであらう、羞る容子もなく言つた。

大山も有繁に面目なげな容子で、

「陋劣な男と定めてれ怨みなさるでせうが切ない私の心もた察し下すつて、どうぞ堪忍して下さい、只管れ詫び申します。」

「いゝね、もう其事は今も申しますやうに約束事と諦めましたから、何にも申しませんゆゑ、今願つた黑崎さんとの結婚を、れ止め下さるか奈何か、其御返事を聞かしてくださいまし。」

廣告

東京産婆學校卒業　莊野キヌ
麹町十五間道路
鐵道官舍十六號一

直輸入商　辻屋
京城本町二丁目
同三丁目
本店電話二四八番
支店電話三六六番

年の餅大奮發
景品のかわり日本米にて
餅一斗に付　金二圓八十錢
東京名菓製造本舗　大和軒
本町一丁目郵便局前
（電話四八九番）

炭木
卸小賣
諸官衙御用達
京城長谷川町一丁目
小島商店
（電話架設中）

●風味好良●
●社會スリ子パ、スエーデ所造製葉大最古耳士○
HIGH CLASS TURKISH CIGARETTES
D.S.P.&Co.
HAND MADE
D.S.Paneris & Co
SAMOS
Turkey in Asia.
REGISTERED TRADE-MARK
右卸小賣トモ低廉ニ販賣致候
仁川港本町角
仁川代理店
穎原兄弟商會
京城本町四丁目角
デーエス、パ子リス會社
出張所

●日用質精選の●トルコ煙草直輸入
インペリヤル紙巻金口　十本入
スルタン同　二十本入
ハノム同　廿五本入
ロートヤル同　五十本入
ジャーバン同　百本入
バサー同
アリストカラ同
ハイライフ同
アマシース紙巻
エキストラー同
各種新荷着

一しわす
一牛肉　十二錢
一海魚　二十錢
一茶碗むし　二十錢
一親子丼　二十錢
●支店開業披露●
御一人前　二十錢
同
同
同
（万）仁川支店
京城明治町一丁目
元菊紋跡

(二)　(三種郵便物認可)　明治四十一年十二月十九日　東京毎日新聞　(土曜日)　第百九号

東京毎日新聞

●韓京覺帳（第八）

水浪生

●金升文事件は余の豫想以上に都合良く行きたり、宋や一進會の計畫したる以上に都合良く行きたり、今は只昨今の辭任せる伊藤公が如何なる程度に於て本事件を善用せんとするか。

●三十九年七月七日、先於是我執監は韓廷及其政府に向ひ兼疊の宮中出入を禁止せんことを厳告したること幾回なるを知らず而れども韓廷及政府は枕監の言を無視して何等實行するところ無かりし、佛の顔も三度の言の通り金升文事件に因りて決心したる伊藤公は自ら宮中に至りて韓皇に厳戒し遂に宮中書清の實行に同意せしむ、此日宮禁令発布せらる。

●宮禁令の實施によりて韓皇は外界との連絡を失ひたり、雜豊等は宮中に出入して良からぬ企を爲すことの自由を失ひたり、韓皇傀儡ばかり雜豊怒れるも蓋し當然なり。

●茲に於てか彼等は無禮の韓民を煽動し宮禁令の實施を以て韓皇の幽閉なりと騒がしむ、只に韓民のみならず日頃宮中の養育に因りて生を營む外人等をして筆に口に宮禁令の不法を鳴らさしめ極力同法の撤廢を爲さしめんとす。

●余は爲らく金升文事件が手掛となりて統監が宮中書清を實行せんとするに至りしは大に良し、而れども公は元來意志薄弱の人なり、若しも今日の如く韓民やら外人やらが宮禁令の實施を以て韓皇の幽閉なりなぞと立騒ぐに於ては下シナ事のはづみにて伊藤公が屈せずとも限らず、而る場合に於て宮禁令の勵行は覺束なく宮中書清もれ止めとなるべし、若かず此際公の勇氣を皷舞するが爲めに大に公の意氣を付けんにはと。

●七月九日、余が統監皷舞の一法として案出したるは公に向つて宮中書清に關し頌德文を呈することなり、頌德文素より兒戯に均しく大仰の人なら何れも笑つて受くるものにあらず、而れども我伊藤公は別人なり、彼の虚榮心は常に頌德文に渴す況んや今の時に於て韓人よりの頌德文は彼にとつては顧てもなきものなり、余此日宋秉畯を私邸に招き語るに頌德文の事を以てす彼直ちに諾して余に其草按を求む、余乃ち邦文を以て草按を作り一進會評議員長廉仲模（今の內部衛生局長）をして漢譯せしめ黒天鵞絨の風呂敷に包ませたり。

●斯る準備の出來たる時にも宋秉畯は伊藤公が此頌德文を受取るべきや否やに就ては尚心配の念を絶たず、依つて余は彼と村田少將の許に送り請ふに頌德文の內意及び統監の內意を即かんことを以てせしむ、宋歸り報じて曰く少將よりの左右は明日帰る答なりと。

●七月十日、村田少將は伊藤公の內意が頌德文を受取るにあるを告げられたり、依つて余は宋秉畯をして一進會より三名の訪問委員を出さしめ此三人をして頌德文を統監邸に送達せしむ左は頌德文の邦譯なり（原文は漢文）

敬啓、伏して惟るに我韓國の貴國に於ける一葦相望み輔車唇齒の勢あり、即ち勝じて對岸の火光を以て尋常看過すべからず、故に施政改善の忠告有る所以なり、是れ寔に大東全局を維持するの遠圖深謀にして、具眼有志的一般人士は、孰か明目張膽して其赫に就くを魁企せざらむや、一進會團体風靡を衝破し險夷を避けず、特に四大綱領を掲げて屢々我政府に勸告する、奏萬茲に三年、尚ほ一事半籌の改善起色なきもの、實に奸細の業、官關と見るべきものは僅に鏤版と電信のみさ害通の地に側ち、架空起閣疑雲萬疊、捕風捉影、謬說明興して晝夜なす處、罔上經奏的ならざるはなし、聾聰を眩惑し善隣を餌誘し百弊層生、駭々として之を施措するものなく、宣に浮雪の太陽を蔽ふ欲んで維ふ、我大皇帝陛下、明月日と併び閣下の定見方針は、我政府の代議より出て宮禁嚴清の方策を敷衍奏陛し、弘猷を嘉納して、之を實施せしめたり、皇帥陛下文武英明、迥かに尋常より出る萬々にして、閣下の高明、蘊會を凌駕し、之を行ふ未だ幾日ならずして宮禁肅然、朝綱方に擧り、百度維れ新なるは、日を指して觀る可きなり、我韓の日に文明に趨くや東洋全局の維持皆に此に基く也、我皇帝陛下淵燭弘量、率土の民も驩戴せざるなく、閣下の献猷輸忠、有志者の讃頌する處、維ふに我團体百萬人の確認する所にして、今此の施措は洵に皇室を尊重するに出るなり、曲學膠泥の人士の若きに至ては、設し横議あるも就に齒牙に掛くるに足る者なき也、茲に丹衷を將て頂戴謝す、維に統亮を希ふ。

光武十年七月　日

大韓一進會々長　李容九

外會員百萬人

統監侯爵伊藤博文閣下

東京電報

▲韓太子の鴨猟

天皇陛下には韓國皇太子のため二十日新濱御猟場にて鴨猟仰付けられたり（十七日發）

韓國拓殖談

●韓國の寺財産管理

宇佐川中將は語りて曰く東洋拓殖會社第一の目的は韓國の富源を開發して韓國經濟の獨立を助長するにあり故に單に日本人の利益を得んとする主意にあらざる事は殊に注意すべき要點なり第二は平和的經濟發展の爲殊に必要なるは日韓兩國人の融和親愛にあり然るに日本人中には朝鮮に於て如何はしき行動なるにしもあらず且朝鮮人は猜疑心深く恩に馴れ易し是等は注意を要すべき所なり本來日韓兩國人の關係は豊臣德川二時代を除くの外は極めて親密融和の關係なりしなりされば移住民撫操の方法も一に前述の趣意に協はしめざる可からず世間既に會社事業の順序確定せるが如くいふものあるも會社は未だ第一の總會もなく又總裁以下役員の任命も未定なれば從つて其の事業の順序は元より確定すべき筈なしさりながら何人が局にあるも（第一）荒蕪地開拓の爲堤防河川の築造灌漑等は容易ならざる事業にして僅少の資本にて其の目的を達すべくもあらず（第二）日下朝鮮には文明的交通機關の全備を期せんこと必要なり然れども之を會社事業としては無理なりかゝる大事業は日韓政府共同の施設經營に屬せざる可からず會社又間接に之が補助たるに過ぎざらん（第三）韓國の出資たる土地は八道に亘るべきものか又は一定せる特處に限るべきか是等は實際問題として會社創立後當局者の研究すべきもの所なり其の他會社は京城に置くべく金融の準備より檢算の変件等種々の準備を要す何れ來春五月第一回總會迄には總て世に發表すべし云々

●地方税新賦課

韓國內地の各官廳に於ては從來經費の少なかりし爲め凡ての施設現角緩慢に流れて行政の支障を來たすこと甚だしかりしを以て今般內部及度支部と協議の上新たに地方税の賦課を爲す筈なりといへり

●寺財産管理規則

既報の如く內部に於ては內地の例に則り社寺財産管理を明白にし其の離散を防ぐ方針にて規則の制定に關する調査中なりしが翠終了したるを以て近日開かるべき同部法合審査會に討議せらるゝ筈なり。

●豫算省の請求額

昨紙報道せし後更に聞く所に依れば昨年度の豫算は各部より請求したる總高約五百萬圓の超過なる由傳ふるものありと雖ども二千萬圓强に對する二千萬圓弱の超過にして實に危大なる額を示したることなるが元來日本の豫算は一應の總高を定めたる後之れを各省に分配し爰に始めて精細の豫算を編製することなれども韓國に於ては最初より自己の思ふが儘に豫算の編製を爲すことなれば勢ひ危大に流るゝの弊あり依て過日の參與官會議に於てもこれが大削減を試みず度支部にても目下査定に急ぎつゝあることなるか昨年度よりは結局百万圓位の增額を見るに至るべしと云ふ

●博覽會開設見合

明年度豫算を以て要求したる各部新計畫の大部分は刪除せられたる結果明年度開設せらるゝ博覽會なりし勸業博覽會に要する明年度割の經費も刪除せられたる趣きにて當分見合せとなるべしと

●巴運河不成功説

巴里來電に據ればパナマ運河の技師プナウグアリルラ氏は現在米國の運河開鑿工事計畫はカタム堤防の不堅固なる爲失敗する事疑ひなしと思考せり

●滿鐵の新課長

滿鐵會社改革の結果新に任命せられる各部課長左の如し

庶務課長　秘書役　沼田政次郎
會計課長　調査役　山本佶
調査課長　同　安田雄
運輸課長　同　理事　川村柳次郎
工業課長　鐵道局長　犬塚信太郎
地方課長　調査役　朝倉傳次郎
工務課長　同　茂倉敬孝
用度課長　同　堀三之助
倘電氣作業場長には柏谷技師、瓦斯作業場長には島技師任命せらるゝ筈なり
港務所長は井上技師任命せらるゝ筈なり
行中につき當分沼田庶務課長が兼務する由

●民團合併反對上申（二）

如上の口實か果して我龍山民團を別に獨立せしめたる實收成績の如何に於ては滿鮮界の事情にも由るべし理事者の手腕如何にも由るべし直に之を以て居留民の負擔力を甘しとせざる民團財政の不健全なることを證明せんとするに至つては遽に之を服するべからず試に兩民團の財政に就き兩居留民の一戶若くは一人負擔の平均額を對照するに於て吾等は我龍山居留民が京城居留民に比して遙に幸福の狀態にある事を立證し得べし別表統計の示す處に依れば本年五圓十八錢なるに龍山居留民の一戶負擔額は二十圓弱に過ぎず更に一人別負擔額に就て見れば京城は平均廿錢を示せり現今の狀態を以てして尚我龍山居留民に比し一戶に就き五圓十八錢一人に就て裕あることを示せり全体の議入京城に比して少額なりとするに龍山民團は幸に京城民團の如き多額の負擔を有せず何人が我龍山を目して徵し且つ必然到來すべき將來の發展力を豫想して毫も我龍山民團の財産に將來の現在並に將來の政の發展に資するを甘しとせざる也學校道路病院等の設備に於て他の自治体又は民團に比して遜色あるは吾等も夙に自覺する處なりと雖も此等は總て臨時の費目に屬する經常歳入に依賴して一時に完整を豫期すべき性質のものにあらず龍山民團が本年度に於て着手すべき學校道路の設備を完ふするに能はざりしは一に借欵の不成立に原因せり借欵の不成立は全く財界の不況に基く一時的影響に過ぎず民團財政の不健全若くは不信用等に原因するに非ざる也龍山民團は京城民團の四分の一に比して遜色あるは吾等も我龍山民團は京城民團に及ばざるは歳入を以て京居留地の生存に於て止むを得ざる歳出を辨し未だ嘗て他の憐憫に依賴したることあらざる也小學校の設

●博覽會開設見合

明年度豫算を以て要求したる各部新計畫の大部分は刪除せられたる結果明年度開設せらるゝ博覽會なりし勸業博覽會に要する明年度割の經費も刪除せられたる趣きにて當分見合せとなるべしと

●巴運河不成功説

巴里來電に據ればパナマ運河の技師プナウグアリルラ氏は現在米國の運河開鑿工事計畫はカタム堤防の不堅固なる爲失敗する事疑ひなしと思考せり

●滿鐵の新課長

滿鐵會社改革の結果新に任命せられる各部課長左の如し

庶務課長　秘書役　沼田政次郎
會計課長　調査役　山本佶
調査課長　同　安田雄
運輸課長　同　理事　川村柳次郎
工業課長　鐵道局長　犬塚信太郎
地方課長　調査役　朝倉傳次郎
工務課長　同　茂倉敬孝
用度課長　同　堀三之助
倘電氣作業場長には柏谷技師、瓦斯作業場長
港務所長は井上技師任命せらるゝ筈なり
行中につき當分沼田庶務課長が兼務する由

●民團合併反對上申（二）

如上の口實か果して我龍山民團を別に獨立せしめたる實收成績の如何に於ては滿鮮界の事情にも由るべし理事者の手腕如何にも由るべし直に之を以て居留民の負擔力を甘しとせざる民團財政の不健全なることを證明せんとするに至つては遽に之を服するべからず試に兩民團の財産に就き兩居留民の一戶若くは一人負擔の平均額を對照するに於て吾等は我龍山居留民が京城居留民に比して遙に幸福の狀態にある事を立證し得べし別表統計の示す處に依れば本年五圓十八錢なるに龍山居留民の一戶負擔額は二十圓弱に過ぎず更に一人別負擔額に就て見れば京城は平均廿錢を示せり現今の狀態を以てして尚我龍山居留民に比し一戶に就き五圓十八錢一人に就て裕あることを示せり全体の議入京城に比して少額なりとするに龍山民團は幸に京城民團の如き多額の負擔を有せず何人が我龍山を目して徵し且つ必然到來すべき將來の發展力を豫想して毫も我龍山民團の財産に將來の現在並に將來の政の發展に資するを甘しとせざる也學校道路病院等の設備に於て他の自治体又は民團に比して遙に幸福の自治体又は民團に比して遙色あるは吾等も夙に自覺する處なりと雖も此等は總て臨時の費目に屬する經常歳入に依賴して一時に完整を豫期すべき性質のものにあらず龍山民團が本年度に於て着手すべき學校道路の設備を完ふするに能はざりしは一に借欵の不成立に原因せり借欵の不成立は全く財界の不況に基く一時的影響に過ぎず民團財政の不健全若くは不信用等に原因するに非ざる也龍山民團は京城民團の四分の一に比して遙色あるは吾等も我龍山民團は京城民團に及ばざるは歳入を以て京居留地の生存に於て止むを得ざる歳出を辨し未だ嘗て他の憐憫に依賴したることあらざる也小學校の設

●露國皇帝の命名日

本日は露國皇帝ニコラス陛下の命名日に相當するを以いふことである、彼の爆發藥として有名なるナイトルダッセルの發明は此のノーブル家當主の先代となり而して其の長子はダイナマイトの發明家で二子は露國裏海附近のバグーと云ふ處に於て石油の井戸を掘ること發見し三子は稀火藥を發明し四子はダイナマイト製造中誤つて之れに觸れ惨ひに早世せられたそうである如斯ノーブル家は破壞的の發明或は發見に依つて巨大の富を造つたのであるから主人ノーブル氏は常に之れが反對として平和又は無事を好愛してゐた處で其のノーブル氏の陣屋の遺言は面白い（未完）

●露國皇帝の命名日

本日は露國皇帝ニコラス陛下の命名日に相當するを以いふことである、彼の爆發藥として有名なるナイトルダッセルの發明は此のノーブル家當主の先代となり而して其の長子はダイナマイトの發明家で二子は露國裏海附近のバグーと云ふ處に於て石油の井戸を掘ること發見し三子は稀火藥を發明し四子はダイナマイト製造中誤つて之れに觸れ惨ひに早世せられたそうである如斯ノーブル家は破壞的の發明或は發見に依つて巨大の富を造つたのであるから主人ノーブル氏は常に之れが反對として平和又は無事を好愛してゐた處で其のノーブル氏の陣屋の遺言は面白い（未完）

●大連の昨今

大連飯客會議に曰く滿鐵の上海聯絡航路は非常の盛況にて乗客常に滿員の有樣なり先頃給により從來大坂より來れる雜貨にして上海より供給せらるゝの傾向を生せり滿洲大豆は從來業津に於ける販路のみなりしに最近歐州向輸出盛況を呈するに至りしかに米國領事の如きは命員を雲業者間に派して市況の高低を觀測せしめつゝあり上海の支那商の松花江黑龍江交通の目的を以て二百万圓資本の一大京船會社を設立しつゝありと

●驛屯土小作料調定額

平壤財務監督局管內における本年十一月末日までの驛屯土小作料調定額は左表の如くにして調定未了のもの尚多くこれあるよし而して其の物品にて徵税の分は各郡に於て公賣に附すとの事なり

	現金	穀其他雜穀
平安南道	二、五六四圓	四、七三八石
平安北道	二、八〇一	三二一
黄海道	一八、七一六	三〇、三七〇
通計	六二、〇八一	三五、四二九

●保税倉庫新築擴張

平壤保税倉庫の新築は鑛業所の隣接地に約四五萬圓を雲業者間に派して市況の高低を觀測せしめつゝあり上海の支那商の松花江黑龍江交通の目的を以て二百万圓資本の一大京船會社を設立しつゝありと

●驛屯土小作料調定額

平壤財務監督局管內における本年十一月末日までの驛屯土小作料調定額は左表の如くにして調定未了のもの尚多くこれあるよし而して其の物品にて徵税の分は各郡に於て公賣に附すとの事なり

	現金	穀其他雜穀
平安南道	二、五六四圓	四、七三八石
平安北道	二、八〇一	三二一
黄海道	一八、七一六	三〇、三七〇
通計	六二、〇八一	三五、四二九

●へ博士滯京彙報

△統監との會見光景　博士は一昨日午後三時より巨智部場の兩氏と共に統監邸を訪問せしが伊藤統監は村田、外波の兩武官及古谷秘書官を從へて會見し統監が嘗て瑞典の主府ストックホルムに遊びたる際の談話を始めとし地理風俗等重に學問上のことにて快談を盡して退邸せしは五時なりし△虎肉料理　一昨夕明石憲兵隊長の主催に係る日本人供樂部の晩餐會は既報の陪賓にて少人數のことなれば互に打解け快談せり村田外波兩氏の如き先年瑞典に遊びたる時の強奮談など興味津々として盡きざりき江原道憲兵隊の手に入りし虎肉を料理で供したるより一入の快興を添へ十一時過散會したり

▲統監の寫眞　伊藤統監は一昨日博士に會見の際寫眞を贈與せられたり▲商品陳列館見物　博士は昨日十一時頃農商工部の商品陳列館を見物し夫れより歸宿書類及書翰等の整理に從事したり▲博士は十九日午後五時韓國重なる官民の乞により鐘路なる青年會館に於て講演をなし廿一日韓國皇帝に謁見し廿二日午後一時仁川發博多丸にて大連に向ふ筈なり

●郡守の資格審査　地方各道より內部に向け郡守新任者の候補者を推薦し來りたるもの數名あり近日此れに對する資格審査會を開催する筈なり

●郡の廢合

從來韓國の郡區は大小區々にして郡行政上非常の不便を見たるを以て內部地方局に於ては之れが廢合を爲す可く既に着手し地方も十三四に及びたる由なるが今後も尚ほ交通上及び人情風俗を參酌して大いに改善の途を講ずる筈なりといふ

●へ博士に章勳贈與　宮內府にて十二月十日は午前十時より開會一昨日に引續き午前中各委員會を開き殘部の問題を調査し午後各委員會の決議を本會に報告して審議する所あり午後五時散會せり

●へ博士の入京を機と動一尊八卦章を贈與する筈なりと云ふ

●へ博士の入京を機と動一尊八卦章を贈與する筈なりと云ふ

●へ博士の夜叉探險の壯擧に就ては有力な後援者ある由にて殊に同國皇室を始め同國一流の資産家なるノーブル家の贊助を受け居れるが今瑞典通の語る所に依れば此のノーブル家に關して隨分面白き逸話のあることなりと云ふ

●露國皇帝の命名日

本日は露國皇帝ニコラス陛下の命名日に相當するを以いふことである、彼の爆發藥として有名なるナイトルダッセルの發明は此のノーブル家當主の先代となり而して其の長子はダイナマイトの發明家で二子は露國裏海附近のバグーと云ふ處に於て石油の井戸を掘ること發見し三子は稀火藥を發明し四子はダイナマイト製造中誤つて之れに觸れ惨ひに早世せられたそうである如斯ノーブル家は破壞的の發明或は發見に依つて巨大の富を造つたのであるから主人ノーブル氏は常に之れが反對として平和又は無事を好愛してゐた處で其のノーブル氏の陣屋の遺言は面白い（未完）

●へ博士の夜叉探險の壯擧に就ては有力な後援者ある由にて殊に同國皇室を始め同國一流の資産家なるノーブル家の贊助を受け

●へ博士の逸事（瑞典に於ける）

●鮮令　十七日附

任統監府屬（五級俸）地方部在勤　今村武志

任統監府屬（五級俸）法部書務官　松村新太郎

任統監府屬（五級俸）法部書務官　檢事　伊藤德須

任統監府屬（五級俸）法部書務官　檢事　伊東淳吉

●氏野檢事着任　釜山地方裁判所檢事に任せられたる前大邱理事官氏野德太郎氏は十六日着任し諸官廳、民團役所、新聞社等を歷訪し新任の挨拶をなしたりと

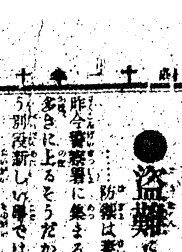
●釜山民會の決議　釜山民會の決議に依り既報事務官松井氏を任中の功勞に感ぜ爲め金盃に感謝狀を添へて贈呈する筈なり右は一兩日中に某是助役之れを携帶し上京する筈なりと

●松井氏に紀念品

●龍山本願寺の說教　本日午後七時より龍山本願寺に於て伊藤開教師の說教ある由

●釜山地方裁判所檢事

明治四十一年十二月十九日 東京朝日新聞 (七日目) 第九版



●盗難を罹らぬ要心

……防禦は要者の心掛け一つ……

昨今警察署に集まる盗難届は日々多数通の多きに上るそうだから少し其要心を述べやう別段新しい事ではないが是丈の事に注意すれば大抵は其害を免れる事が出来る

▲泥棒の這入る時刻　は大概夕方の食事時分と深更の二時三時の間で夕方忍び込むのは多く掻浚いの稍遠くで奴で多く時は輪人で逃ても窃盗まつてから雨戸を開る程の用無もなく其戸を開けながら家内所に潜つて高話をして食事をやつてゐる隙を狙つて這入るされば屋敷は重に玄関位まで引張ると雨戸が全部揃つた壹弓形に曲つて下に間が開くから敷居と雨戸との間などを手懸り矢鱈に掻浚つて逃げる深更に恐び込む奴はもう専門の奴で中には日本か間が稼ぎに来て居るのがある賓の口は近所　薪炭屋かなんかで呑んで居つて口が暮れると洗すると稍してそろ〳〵目的の家を歩いて目星しい場所を探す

▲泥棒の這入る場所　は今の處では重に雨戸を鑿で捨ち明けて這入るので家によつては雨戸と雨戸との間に釘を通して引張つて雨戸が全部揃つた壹弓形に曲つて下に間が開くから敷居と雨戸との間に棒を挿んで置いて其處から這入るのだから一番安全なのは雨戸一枚々々に敷居に釘を通さやうにして置くに限る其外明り窓や便所から恐び込むのもある

▲掻浚ひと明巣狙　の中には年の暮の苦しさに急に開業する素人もある、是からは掻浚ひは重に市中で歳暮賣出しの商店などに二人連で出懸けて一人が色々番頭を捕へて品物を見てゐる隙に他の一人が掻浚つて逃げ出す、その中で一番数多の狙つてゐるのは呉服屋の店頭に吊してある半襟や布を掻浚ふ事で是が一番金になる相だ、だから商店などでは十分注意して誰か一人は専門に客らしい風をして見張りをしてゐる必要がある、明巣狙ひは家人がないと見ると用あるらしく隣で行先を聞き合せてから這入り込ひので實に仕末が悪い、盗が立戻るが同じ窃盗に目指される家にも

▲泥棒の嫌ひな家　がある犬の居る家は先づ其第一であるが其次には子供や老人の居る家は眼を覺す事が早いので何うも氣臆りと相だ、夫から雨戸と硝子障子との重なつてゐる家と二階に貴重品の置いてある家とは彼等の禁物で大概敬遠する相だ

今昔風よく恐び込んでも中に

▲品物の取れぬ家　がある相だそれは細君の心懸けがよくて置具が一つ〳〵整然と片付いてゐると賓に取る に困る相だ日頃も掃つて綺麗に一文も持合はさゐるにぞ逆に十八番目へ月の家と稱する意氣な待合を開いて客扱は至極く便利且つ丁寧なる由

西濃警察署へ突出されたるが此奴は稲山錦吉は色々目星しい者がありながら逢には参殆に悩まされなくなつて一物も取らず　逃げ出した塔さへある相だ世の中は總て妻君の心懸けつである夫から今一つ注意すべきは近處に泥棒が這入り懸けて失敗した時は其後数日間は色々手を代へて附近を荒さうと懸るから此時緩程警戒せねばならぬ。

●ヘソ子の懲成就

六十日余り旭町某銀人の家庭教師たりしいとも誤面相の醜悪極まる中村タキは今日此頃龍山は伯父の家なる二階に籠り砲窓寒月を眺めては人知れぬ涙の種を濯らし明け暮れ已が行末を思ひ室の胸に手もあてし空間の淋しさに天を恨み世を果敢なみさては生み落したる父母にまで愚痴な文句を書きならべ國元に寄越すといふ始末なるが見捨ての神もあれば拾ふ佛もあるとは世の習ひ爰に蛾蛆局の各驛時計見張りの山田某なる月給十九圓の男あり此の男月給易き處より好きな色戀叶ふ筈はなく遂に桃山遊廓を眺めては「あゝ金が欲しい」と痛くも此世に望みを失ひ居りたるが或夜山田が當々信仰するキリストは枕上に立ち「これ山田よ、汝の願を容れて愛龍山監獄署看守長宅に居る検番ヘソ子なる女と關係するべく計謀す」との宣めりたり其のヘソ子といふが即ち村タキにてヘソ子とは近頃附近の井戸端會議の議決に由るものにして誤面相全く磨の如し其故で山田の婚ふことは山田の來意を聞くや吃驚して嬉び「妾もや死んでも貴郎の妻ですよ」と當世流行のチャンカラ式なる握手と固く取り交はし偽ほ別れにのぞみヘソ子言と添わて「伯父の眼、又は他の人々の前も憚る處あれば妾らは逢ひは重に市中で歳暮賣出しの商店貴郎の御宅を訪ひますわ」斯くて其れ以來早いや光陰去つて二個月なるも鶯恋の夢やいとあたしく時々金釵枕に腕れて聲淋なりとは願望叶ふて御用人萬歳

●金は掃はぬ魂膽　蓬來町二丁目二番地馬車輓入江永吉(三)は西部藥覗居住李春三(三)より八十圓にて馬車を買受け内金六十五圓を支拂ひたる外殘金は種々の口實を設け處置をつけざる處より一昨日李より西部署へ訴へられたるが入江は嚴重なる説諭をうけたり

●火災二件　龍山西湖玄石里李善良所有に係る新一万千本は一昨夜燒失したるが原因は多分水夫等の焚火ならんと云ふ▲昨朝午前七時西部鑿松坊飯商洪熙祥方の炊事場より發火し大事に至らんとせしを附近の人々駆け付けて消止めたりとは險呑

●三人組の無銭飲食　一昨日午後　時頃當地大平町初音亭に上り込んだ三人の職人体の男あり酒よ肴よと種々注文して同六時

●待合月の家の開業　今度本町五丁目二十八番地へ月の家と稱する意氣な待合を開業せり客扱は至極く便利且つ丁寧なる由

●昨今の民間踏屈　十八日京城民團にて国軍隊の分列式がある指揮官は何れも女優で引率せる四人宛の兵士が聯隊旗と銃を捧げて樂隊に合した歩調面白く分列式を終へ最後に貞奴の扮せる平和の女神が空天に顯はれると云ふ蓮梅で舞臺、小道具、扮裝等何れも悉く外國の者を寫して實に嘉新なる劇で至る處大好評を博して居る今度來れば即ち此の團体で戦地は三日間右の通りを演じて後三日は何か替はつた者を出し六日位で打上げるとのこと又男優の立物佐藤藏三は都合に依り一座を離れ其代りに京都明治座に多年本城を揮へて居た静間小次郎が入座する由、兎に角演藝化し芝居はかり入替り立替り流れ込む韓半島の劇場も是れに依つて一變遷を見るに至るであらふ

●横着なる大工　龍山新明町二番地平原正太夫云へる大工は去月廿七日仁川濱町二丁目大工職山下喜藏を京城に連れ出し西都青坡板橋工場にて使用し居たりしが十日餘の賃銀を支拂はゞるのみか其上云藏所持の大工道具一式を騙取せしに依り此程喜藏より告訴されたり

●本町座の替り　關三十郎一座今來の替り狂言は前賞錦新皿屋敷、切り左り甚五郎にして重なる役割左の如し

肴屋宗五郎、左り甚五郎(飯太郎)愛妻れ肴屋宗五郎(八百升)浦部門三郎(明丹)多四郎、召使れなぎ、京人形(瓶一郎)岩上典蔵(荒笑)岩上吾太夫(矣幸)磯部主計之助、魚屋三吉(竹三郎)肴屋太平、浦部重左衛門(三十郎)

革新演劇の來韓

……半島演壇の一魁……

舞臺を退ひてマチージャとなつた川上音次郎は一昨日突然京城に來り伊藤韓警務局長、各新聞社等を歴訪し昨夜京城の劇場の視察をした、其五郎(飯太郎)愛妻れ歴訪した後、記者は同人を訪ふて一夕の談話を交換した渡韓の用向は同人の組織せる革新劇團行に關し劇場の視察で京城の劇場では第一持參する書割、其他背景が寸法に合はぬ舞臺の奥行が全に見せることが出來ぬ、見物も五百や六百收容するに足る位ひでは到底算盤球に掛からぬ、是等の欠點でドウヤラ不の字に成りそうだつたが其處は川上だ、釜山と仁川を打てば千人内外を容れるに足る可き劇場もあり且つは無趣味極まる新開地の同胞に眼新らしき者を見せて女と酒ばかりに耽けつて居る人士を覚醒せしむるも國家に對する幾部の責任だ、多少の犠牲は拂はねばならぬと思ひ極めて歸朝したらしい、先頃歸朝中革新劇第一、第二團とも幸に見物したかの序を以て眼に映じた感想を書いて見よう、第一團は左團次、璃徳、延三郎又五郎、喜美蔵、宗之助等の舊俳優中の青年連を網羅し藝題は岡本綺堂氏作維新前後として長州の奇兵隊と會津の白虎隊とを前後に分けたものであつたが奇兵隊の方があまり面白くなかつたのと大立物たる左團次が外題なるに反し第二團は安優が演ずるに反し第二團は安優が演ずるに反し第二團は安優が勢力を占度演ずるに反し第二團は安優が勢力を占めて居る即ち大將が貴族で、縮いて花浦咲子、鈴水歌子、川上禎子、宮下信子、茅野菊子等で男優の方では佐藤藏三、深澤恒鑒山本嘉一、川上の弟同苗碩太、津坂幸一郎以下三十名許りである藝題は前田口掬汀氏作日本の魯後から釜田太郎氏作維新前後として長州の奇兵隊と會津の白虎隊とを前後に二番の題の旅行は貞奴の洋行土産とも言ふべく舞臺は倫敦を形取り深澤の扮せる双田宇助と云へる蕗紗商が初めて倫敦に登り大失敗を演ずるこれを伴つて居る山本嘉一の扮する大野富三郎と云へる伯爵が初めて倫敦生活に馴れて居る紳士が大に氣を揉む風に舞し大野の極端なるハイカラの配合面白く女優に扮せる貞奴と伯爵に扮せる川上磯太のダンスは十疑の樂隊に合はして見物を酔はしめ最後に日英、獨佛、露、米の六ケ國軍隊の分列式で終る

工事請負入札公告

一、元山警察署廳舎其他新築工事

一、清津警察署廳舎其他新築及同廳舎敷地地均工事

右入札ニ付詳細ハ本日以後ノ官報又ハ當廳並釜山、元山、清津出張所ノ掲示ヲ見ルベシ但書留郵便ニテ入札ノ者ハ保證金共送付ノコト

隆熙二年十二月十九日　建築所

廣告

⑪天氣豫報(自十八日午後六時至十九日午後六時)

北又は西の風晴

十八日午前六時各地氣象概況

昨朝支那東海にありし低氣壓は今朝日本海北部に去ると共に高氣壓黄海を蔽ひ北又は西風吹き氣温一般に下降して晴天なり

謹告

一昨十六日横家渡邊拵殿宅より出火の際は早速御駆けつけ小家に御盡力下され御陰を以て大事に至らず鎮火に至りしは深く感謝に堪へず取込中自然御尊名洩も可有之不取敢失禮ながら新聞紙上を以て御答禮申上候尚御預りの質物には聊か異状御座なく茲に謹告仕候

貿易雜貨兼質商　京城本町八丁目　大橋組本店　大橋清三郎(電話八十一番)

代書

金錢貸借　土地家屋賣買　周旋

鶴山老松町(民役所前)　堀昇

開業廣告

待合並に席貸　月の家

京城本町六丁目

産婆開業

明治町一丁目五十九番戸　中島圓子

差押保證金訴訟印紙料

凡て訴訟費用便利御用達可申に付精々御利用被成下度候

京城長谷川町一丁目五十九番戸　和泉法律事務所　坂本兵太郎

入院隨意

京城壽町三丁目元阪井病院跡　高井醫院(電話二一六番)

院長　陸軍三等軍醫正　高井貞治

弊支店に於ては管理上一切債務を負わす故に入用の物品も總て現金にて買入致候間何人が弊支店名義にて申出候者あるも一切御貸渡し被下間敷自然御貸相成候共弊支店一切其責に任せず候也　京城本町一丁目　熊平支店

開店御披露

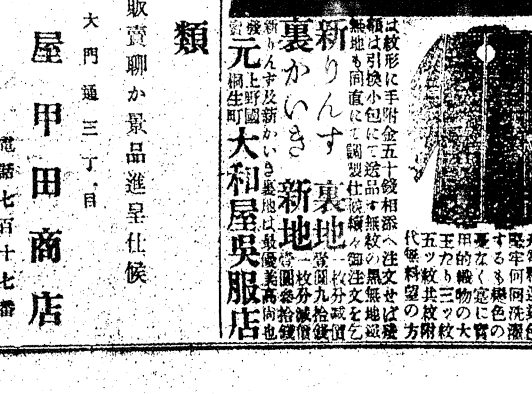
歐米雜貨類

精良品破格大廉價販賣卿か景品進呈仕候

南大門通三丁目　泉屋甲田商店　電話七百十七番

開店御披露

福岡縣三井郡追分　醸造元　富安猪三郎



於京都開設五二全國共進會金牌受領

於巴里萬國博覽會金牌受領

於第五回内國勸業博覽會金牌受領

於九州沖縄八縣共進會金牌受領

大藏省設立東京醸造試驗所主催於全國清酒大品評會優等金牌受領

歐米雜貨類

京城本町　電話五七一番

新市樂黑紋附羽織地

正價六圓の處特別大減價金壱圓八拾錢

新羽一重黒紋附羽織地

正價五圓の處特別大減價金参圓五拾錢

新斜子黒紋附羽織地

正價四圓の處特別大減價金参圓弐拾錢

新りんす裏かいき新地

新りんす及新かいき裏地は最優美高尚也

裏地

一掌圓九拾錢分減價

元

上野國桐生町　大和屋呉服店

大勉强廣告

各國時計貴金屬 服飾類各種 本町一丁目（郵便本局前）

小林時計舗

本町二三丁目聯合大賣出ニ加入シ本月十六日ヨリ三十一日迄御買上金五十錢毎ニ大景品券一枚ツヽ進呈ス

弊店特ニ正札ヨリ一割引ヲ以テ販賣仕候間陸續御來店ハ割引ナシ

土耳古煙草直輸入卸小賣

インペリアル GDS 特ニ原料ヲ精選シ特色ノ風味香氣ヲ有シ最モ高尚ナル飲料ニシテ來客用ニ適ス

明治町壹丁目

シーデーシエリス會社

出張所 エムシーシエリス

米國製銀判 獨逸製銀判 繡上ゲ靴 ボックスキャフ 六圓

半裁 繡上ゲ靴 ボックスキャフ 四圓九十錢

和キツト 繡上ゲ靴 三圓五十錢

米國製銀判 一枚革製靴 ボックスキャフ 深ゴム 六圓五十錢

京城本町一丁目理事廳横通

富田製靴店

京城本町六丁目

富田支店

景品付 聯合大賣出し加盟店 金五十錢毎に景品券一枚進呈ず

●地方より御注文の方は引換小包に應ず料金は殊に弊店にて相働き申候尚御足に合はざるときは御返戻の事

景品附歲暮大賣出し

十二月十五日より同三十一日迄

御買上高 金壹圓毎に景品券一枚進呈

一等 郡内蒲團 一組
二等 瓦斯蒲團 一組
三等 更紗蒲團 一組
以下略す 一本も空籤なし

京城郵便局前 電話七六番

秋山商店

吳服洋反 太物蒲團

▲轉宅荷物運搬

京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負

弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚ほ弊店は責任を重んじ万一御委托物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其賠償の責に任じ決して御損失は相掛申間敷候間幾々御用被仰付度此段謹告候也

京城南大門通り二丁目二十番戸三浦商店向側

有田運送店

有田豐太郎

景品附聯合大賣出し

年稍既に迫り年内餘日無き折柄我明治町一圓相聯合して景品附歲暮大賣出し開催仕り薄利多賣の主義を以て御便利を圖り將來の御引立を仰ぎ度程偏に奉希上候依而左に賣出し期間及景品の方法種類並に候間多少に不拘續々御來購の精々顧客の加盟商店を列記し茲に廣告仕候也

一 大賣出期間は十二月五日より同月三十一日迄

二 聯合加盟店は商品代金五拾錢毎に御買上の節は景品券一枚宛を呈すべし但賣渡に此限りに非ず

三 景品券は即時事務所に於て景品と御引替可申候

四 事務所に於ては毎日午前九時より午後十時迄景品引替を爲すべし但三十一日は徹夜相渡可申候

五 景品は當等精白米五斗入貳十俵を初めとし絹蒲團、船來ブリストルエキストラ磨時計、西洋トランク、清酒、インベチス、貳枚襞船來毛布、寶石入金指環、タバコ會社銀側無双懐中時計、絹生糸織、柾時計、洋傘、石油、醬油等美景山の如く事務所に陳列して公衆の觀覽に供す

六 景品券には壹本も空籤なし

七 景品進呈上正確を證する爲左の有力家に監査を請へり

城一六 太君 林田 金永郎君 田中始一郎君 大東商店人君
羽多野彌七郎君 羽多野造三郎君 藤田 讓一君 沈宜碩君 森村大郎君

明治四十一年十二月

明治町聯合大賣出事務所

山本雜貨店 櫻井時計店 友谷金物店 岡田小間物店 江里口紙店 河上履物店 初田紙店 桑原太物店 大坂屋雜洋服店 小林民雜貨店 伊藤履物店 柴田菓子店 有田雜貨店 唐川綿反物店 三桝西山酒醬油店 瀧川銃砲店 羽田藥店 宮崎支店印刷所 橋口雜貨店 中村商店 勝木洋傘店 近藤雜貨店 片桐家具店 鈴木洋服店 杉田薪炭商 廉敬模米煙店 八木菓子店 藤山明治堂支店 田中靴店 高木二樂堂店 尾川玩具店 石川ターニー商店 大島提燈店 安達ブリキ店 安部古物店 山邊雜貨店 高雄醬油店 古賀馬具店 高岡洋服店 石田菓子店 寺田陶器店 田中藥店 井上洋服雜貨店 松本雜貨店 川崎提燈店 石田精肉店 小林支店 藤田時計店 藤川雜貨店 岡本天眞堂 中川商店 沖野商店 米川商會 中央商會 中村藥店 小川藥店 深作餅店 中尾軍刀店 江原商店 名古屋飲食店 尹貞奭材木店 岩尾古物店 金化堂時計舗 吉川金光堂 德山菓子店 李德有米店 武飲食店 石田醫療機械店 山野光進舍 村雜貨店 野清水食料雜貨店 今井食料雜貨店 河野商店 佐々部洋服店 山本菓子店

歲暮大賣出し

美術半衿帶上 男女羽織紐帶締 御題模樣御衿地 同御吊沙地 肩掛首卷

新荷揃

明治町聯合景品附大賣出しに加入せしは勿論なれども弊店は華客各位に平素の御愛顧に報いん爲め特に副景品として一等より三等迄の大福引券を金五十錢毎に一枚進呈致すべく候

光る福引は月三日弊店に於て幕の仕候間當日景品券御持參御來店被下度候敬白

一等 精白米 十俵
二等 清酒 一樽
三等 ビール 一箱

明治町一丁目

兎屋呈德

神經痛 腦胃病

今般都合に依り左記の所へ移轉す

大和町一丁目元軍司令部通

京城鍼灸治療院

免許 灸專術治療

梅毒、子宮、胃病、腦病、脚下マラリヤ、眼病、リヨマチス、神經痛其の他諸病に効能確實

本町七丁目北入花園町

むつ灸治療所

青木直太郎

移轉廣告

聯合景品附大賣出し

金口莨

上等 **葉卷莨**

其他附屬品一切

十二月一日より末日迄歲末大賣出しとして大々的勉强可仕候間御引立の程伏て奉懇願候以上

京城本町壹丁目

トルコ煙草日希商會

御進物用

開業御披露 聯合席貸

松の家

壽町二丁目

今回待合席貸を開業仕候に付ては一般諸事を改め華客の御注文に應ずべく候間販しく御來遊被下度奉願上候敬白

電話開通 五九八番

東京生蕎麥

天金

南山町三丁目

天麩羅鰻丼並に仕出し

東京流生菓子

カステイラ 箱詰 折詰 鑵詰

其他菓子一式

西洋菓子

年暮年玉用菓子特別大割引

東京堂

東京堂支店

岡本町一丁目入歲宮會前

右御進物用として高尚優美なる品澤山調製有之候間多少に不拘陸續御用命奉願候

龍山 總通り

電話開通廣告

龍山電話開通

電話三六一番

龍山老松町民役所前

福島代書所

電話四〇一番

龍山老松町（民役所前）

灘波誌佐

電話二一六番

龍山老松町

椋橋ミネ

電話開通

龍山案詰四ツ角

三三六番

土永吳服店

日本郵船式會社

電話十番

仁川海岸通

漢船出帆廣告

貨物旅客船客取扱店

郡回漕會

電話三九番

京城南大門通

巴商店

電話三〇番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 十二月二十日 後三時出

●大連行 高砂丸 一月三日後一時出

●大連、栗芝、秦皇島行 山東丸 一月三日前五時出

●釜山出帆、浦鹽行 立神丸 十二月廿三日

●大連行 酒田丸 十二月廿二日後一時出

御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ハ本店ニテ御送り可申候

注意 遠船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ケ月前金卅五錢 ▲三ケ月前金壹圓 ▲六ケ月前金貳圓 ▲郵稅一ケ月分金壹錢

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金五十錢 ▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢

發行兼編輯人 秋山忠三郎 印刷人 高木久馬太 京城西署西小門通

發行所 京城新聞社